



通 関

令和3年度採用

業務部統括審査官

（通関第1部門担当）付 審査官

経歴（令和4年8月1日現在）

令和4年3月 採用（現職）

前職について

前職は市役所で、給与課及び地域課で計8年勤務しました。
給与課では、給与の支給事務をはじめ、諸手当、退職金や人件費の算定等を担当しました。
地域課では、地域活動の支援、魅力発信、イベント企画、啓発活動、交流づくりなどを担当しました。
その他、日常の窓口・電話対応、他都市への派遣、コロナ関連業務・対応なども経験しました。

税関を志望したきっかけ

高校生の頃、テレビ番組の特集で、犬と向き合い試行錯誤しながら懸命に働いているハンドラーの姿を見て「カッコいい仕事だな」と思い、憧れたことがきっかけで税関に興味を持ちました。そのとき感じた憧れが忘れられなかったのと、語学を活かして働けることに魅力を感じたので、選考採用の募集をHPで知り、応募しました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

【仕事内容】

私は現在、通関1部門で主に食品の輸出入担当をしており、審査や検査で輸出入貨物の申告が正しく行われているか確認しています。

審査では、提出されたデータや書類を見て、関税法などの法令を守っているか、申告された税額が正しいかなど、誤りや不備がないか確かめています。

検査では、薬物や爆発物などの社会悪物品や偽物などの知的財産侵害品が隠されていないか、申告されていない貨物が混じっていないかなどを、実際に貨物を見て確かめています。

【通関1部門のやりがい】

食品部門では、食品の材料や加工具合によって分類や関税率が異なるものもあるため、材料の産地・成分・製造工程などを審査で確認するのですが、自分で色々調べて正しい分類が分かったときは嬉しいです。



また、輸出入される貨物を通して、日々、食品に関する知識が増えるので楽しいです。中でも最近は、はちみつにはミツバチが集めた花の蜜によって種類がたくさんあることを審査や検査で知り驚きました。アヒルの卵が使われている海外のお菓子を審査したときは、海外との食文化の違いを感じましたし、こうして日本で仕事をしながら海外を身近に感じることができるのも、魅力の1つだと思います。

【税関の魅力】

信用して買った商品が偽物だったとか、必要な手続きをしていない輸入品だと分かったら、安全性を疑いますよね。消費者が安心して安全な商品を購入できるように、税関では日々、適正で公平な税関業務を行っています。税関には様々な部署がありますが、どの部署でも、水際で日本の安全を守るという役割に携われることは大きな魅力だと思います。

中途採用で当初は分からないことばかりでしたが、税関では職員一人一人を大切にしている雰囲気があり、周りの上司や同僚が優しく教えてくれますので、未経験の方でも働きやすい環境だと思います。

どの税関を受験しようか迷われている方は、ぜひ神戸税関に一度来てみてください。素敵な庁舎からいい景色が見れますよ！

ある1日のスケジュール

- 8:30 登庁
- 8:45 課内ミーティング
- 10:45 書類審査、分類の確認のため通関業者へ連絡
・
・
- 12:15 昼食
- 14:00 通関業者立会いの下、貨物の検査
- 15:00 窓口への提出書類の確認
- 17:15 退庁



システム

平成30年度採用

総務部 システム企画調整室 調査官

経歴（令和4年8月1日現在）

平成31年3月	採用	監視部統括監視官付	監視官
令和2年		業務部統括審査官付	審査官
令和3年		現職	

前職について

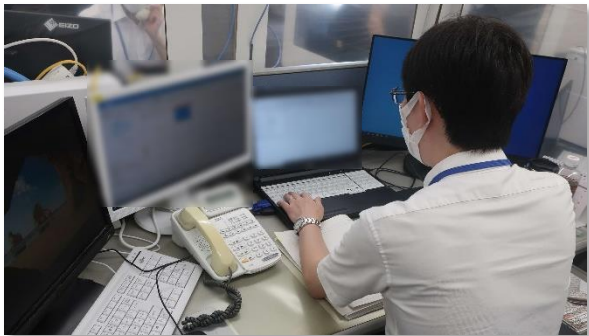
科学技術の振興に関する諸事業を推進する財団法人で、産学官連携による国の研究開発プロジェクトの推進や中堅・中小企業支援等を行っていました。

税関を志望したきっかけ

前職の業務で国家公務員の職員と接する機会が多くあり、国のために働く姿に共感していました。そのような中、税関の選考採用試験のポスターを目にし、業務内容を調べていくうちに、「これまで培ってきた経験や知識を生かし、税関の使命を実現する一員になりたい。」との思いが強くなり応募しました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

私は現在、神戸税関総務部 システム企画調整室に勤務しています。ここでは、税関における様々なシステム・ネットワークの管理・運用を行っており、これらの安定稼働は、税関業務遂行に必要不可欠です。



また、RPA（Robotic Process Automation）等を活用した定型作業の自動化・省力化も進めており、取締りなどの税関の現場において、職員がより創造的な業務に注力できる環境づくりを行っています。

税関の業務は、想像していた以上に多種多様な業務があり、これまでの様々な経験を生かす可能性があると感じています。

また、研修制度も充実しているため、新たな業務に取り組む際にはその不安を解消することができます。

他方、これらの研修制度を活用して新たなことにチャレンジする機会も多く用意されています。

ある1日のスケジュール

8:30 登庁

9:00 室内のメンバーとミーティングを行い、業務の進捗や課題を共有します。

10:00 人事異動で配属される職員が税関システムにアクセスできるよう、新たなIDの作成や端末の設定を行います。

11:00 テレワーク中の職員からログインできなくなったという連絡が入ったので、通信障害が起こっていないか確認作業を行います。

12:15 昼休み（～13:00）

14:00 輸出入貨物の手続や船舶等の入出港手続等を処理するシステム（NACCS）でエラーが表示されたとの連絡があったため、状況を確認し対応方法を回答します。

15:30 セキュリティインシデントを未然に防ぐため、情報セキュリティニュースの内容を検討します。日々の数多くの情報の中から職員目の留まるよう、最新動向も踏まえた内容としています。

17:00 退庁 フレックスタイム制度を活用し、子どもの送迎も行っています。



海港取締

令和4年度採用

監視部統括監視官

（取締第3部門担当）付 監視官

経歴（令和5年8月1日現在）

令和5年3月 採用（現職）

前職について

前職は、町役場に9年程務めておりました。具体的には、公共事業に係る用地買収（用地交渉）、登記事務等を担う事業課、成人式等のイベント企画・運営を担う部署、職員研修の企画・運営、法制事務等を担う総務課に在籍していました。

税関を志望したきっかけ

自身の趣味が海外旅行ということもあり、学生時代にはよく海外旅行をしていました。そのため、その当時から税関との関わりがあり、空港にて旅客を相手に、税関検査を迅速な対応でこなしている職員の姿に憧れがありました。税関の仕事は、上記のような空港等での旅具検査に関わらず、取締業務、通関業務等、調べれば調べるほど幅広く、様々な職務を経験することができ、また、世界を舞台に活躍できると思っていたところ、選考採用試験の存在を知り、挑戦することに至りました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

私は現在、取締部門において、車両巡回を行ったり、監視艇に乗船し海上巡回を行ったりしています。また、時には外国船舶に乗船し、社会悪物品等を持ち込んでいないかを確認するため、船内検査を行ったり、乗船クルー等への検問を行ったりしています。そのため、毅然とした態度で対応する必要がありますが、検査等に快諾いただいたクルー等への感謝も忘れることなく業務を遂行しております。一方、昨今においては、クルーズ船の運航も徐々に回復の兆しを見せ、週末に限ることなくクルーズ船の対応を行うこともあります。今までは、メディアでしか見聞きすることがなかった船が目の前にあり、かつ、世界各国の旅客等と、コミュニケーションを通して税関業務を全うするという大きな職務を経験することができるのも、税関職員としての大きな魅力であると感じております。

ある1日のスケジュール（当直勤務）



- 8:30 登庁
- 8:40 船内検査前、事前打ち合わせ
- 9:30 船内検査
- 10:30 検査後の締め作業
- 12:15 昼食
- 13:00 陸上巡回
- 17:00 窓口事務（業者対応、内勤事務）
- 19:00 夕食
- 25:30 業務終了（入浴、仮眠）
- 6:30 業務開始（車両点検、窓口業務）
- 8:30 終業（事務引継ぎ）
- 9:00 退庁



旅具通関

平成29年度採用

岡山空港税関支署統括監視官
（第1部門担当）付 監視官

経歴（令和5年8月1日現在）

平成30年3月	採用	業務部統括審査官付	審査官
令和元年		調査部統括調査官付	調査官
令和2年		監視部統括監視官付	監視官
令和3年		P I出張所	総務課総務係長
令和5年		現職	

前職について

ペット用品メーカーで、貿易業務に従事していました。中国や台湾の工場で生産した商品を輸入し、取引先へ納品するといった一連の貿易取引に携わっており、具体的には、商品の納入管理、輸出入関係書類の作成・チェック、クレーム対応等を担当していました。

税関を志望したきっかけ

民間企業勤務時に税関の事後調査を受け、その際、貿易に関する様々な法律や制度を教えていただき、税関業務に興味を持つようになりました。税関で働くことによって、法律等を学ぶことができ自分の成長に繋がると感じたこと、また、学んだ法律等を用いて円滑な貿易の促進に貢献できると考えたこと、さらに、民間企業勤務時に習得した語学を活かして働けることに魅力を感じて応募しました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

【仕事内容】

私は現在、岡山空港税関支署で勤務をしています。岡山空港を利用して海外から日本に入国する旅客に対し、輸入してはならないもの（不正薬物等）の密輸入摘発を目的とした手荷物検査等を行っています。空港という水際取締の最前線で、「安全・安心な社会の実現」のため業務に従事することができ、大変やりがいのある仕事です。

【税関の魅力】

税関には様々な部署があり、多様な業務経験を積むことができるのは、税関の魅力だと思います。中途採用で当初は分からないことが多く不安でしたが、様々な研修を受講でき、そして、職場の上司や同僚が優しく教えてくれますので、不安は解消されていきました。今後も新たな業務に取り組む機会があると思いますが、豊富な研修制度や風通しの良い職場環境により不安はありません。

税関を受験しようと考えている方は、是非チャレンジしてください。お待ちしております！



ある1日のスケジュール

- 9:00 登庁
- 9:15 全体ミーティング
- 10:00 事務処理
- 11:00 出国検査・入国検査準備等
- 12:15 昼食（～13:00）
- 13:20 出国検査
- 15:05 入国検査
- 16:30 事務処理
- 17:30 退庁



情報管理

令和2年度採用

調査部 情報管理室 調査官

経歴（令和6年8月1日現在）

令和2年3月	採用	監視部統括監視官付	監視官
令和3年		調査部情報管理室	調査官
令和4年		東京税関調査部国際情報センター室	調査官
令和6年		現職	

前職について

海上自衛隊に約10年間在籍していました。その間、艦船に乗り組み、災害派遣や監視任務等に従事するとともに、総務系や情報分析等の業務を経験しました。

税関を志望したきっかけ

前職の業務で税関の方と接する機会があり、柔軟な働き方や多様な業務を経験できる点に魅力を感じていたところ、税関での選考採用の存在を知り、これまで得た知識・経験や語学力を活かせればと思い志望しました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

【仕事内容】

各種情報を整理、分析し、現場での取締りに役立つ情報を提供することが主な仕事です。詳細な仕事内容としては、各部署等が収集した情報を調査、分析し、海港及び空港での各種検査やその他事件調査に寄与する情報を提供することによって、税関の使命である安全・安心な社会の実現に貢献しています。また、適正かつ公平な関税等の徴収に資するべく、関税や消費税の脱税に繋がる情報等の分析も行っています。

【やりがい】

自身が分析し共有した情報が、現場での有効な検査や摘発等に繋がったときには非常にやりがいを感じます。

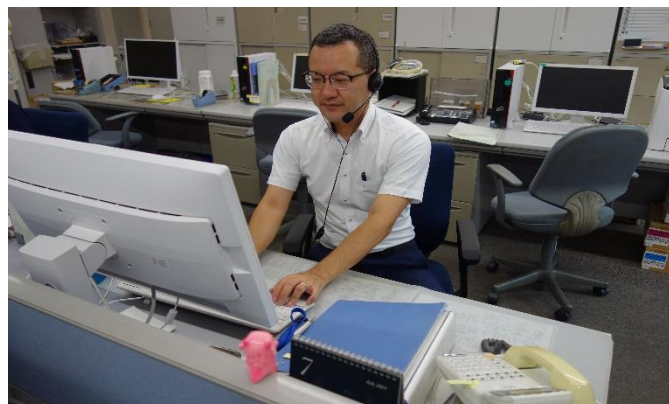
【税関の魅力】

税関を取り巻く環境が多様化する中、税関は新たな課題に対して変化を恐れることなく挑戦してきた歴史があります。普段の業務においても、役職にかかわらず職員が意見を出し合い、まさにワンチームとなってチャレンジする風土が醸成されていると感じます。

また、業務の特性に左右されるところはありますが、テレワーク環境や各種休暇制度等、仕事と子育ての両立支援制度が充実していることも魅力の一つです。

税関の業務は多岐に渡っているため、みなさまのこれまでの経験や強みを活かせる分野がきっとあると思います。

ある1日のスケジュール



8:30	登庁
9:00	他部署との打ち合わせ
9:30	分析レポート作成のための情報収集、整理
12:15	昼食
13:30	室内ミーティング
14:00	国内外の密輸に関する報道のチェック
14:30	他取締機関との情報交換
15:30	各種調査業務
17:00	退庁



海 港 取 締

令和5年度採用

監視部統括監視官

（取締第3部門担当）付 監視官

経歴（令和6年8月1日現在）

令和6年3月 採用（現職）

前職について

前職は信託銀行で営業職として働いており、個人のお客様向けの資産運用、融資、不動産業務、退職前最後の部署では遺言執行者として相続業務に従事しておりました。

税関を志望したきっかけ

私は1人でも行くほど海外旅行が好きで、これまで35カ国ほど渡航経験があります。海外は楽しいですが毎回帰国した際のホッとする理由の1つに日本の治安の良さがあり、税関職員の方が水際で活躍していることをいつも空港で見えていました。ある時YouTubeで税関チャンネルにたどり着き、語学を活かせることや日本にいながら世界を感じられる仕事内容に魅力を感じるようになりました。前職で税に関する勉強もしてきたのでそういった知識も活かせるのではと考え、ちょうど募集が出ていたこともあり選考採用に挑戦しました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

私は現在監視部取締部門において、社会悪等の密輸防止やテロ対策のため、陸上および海上での巡回・検問業務、神戸港に入港する船舶や旅客の取締り業務などを行っています。必要があれば船に赴いてクルーや船長から話を聞くこともあります。やり取りは英語で行いますし、全てが初めてのことばかりで最初は不安でしたが、毎月の部門研修や勉強会、語学勉強の支援もあり、安心して仕事ができます。

取締りや検査方法については決まったマニュアルがなく、先輩方の経験や知識、密輸の傾向等を意識しながら自分で考えて臨機応変に行動することが必要となります。正解がないからこそ試行錯誤の上、自分の手法を作り上げていけるのは、この仕事の面白みでもあり、大きな魅力だと思います。税関には安全・安心な社会の実現という使命があるので、責任と緊張感でプレッシャーはありますが、常に世界情勢に触れながら社会のために働けることに大変やりがいを感じています。

ある1日のスケジュール

- 8:30 登庁
- 8:50 監視艇での海上巡回
- 11:30 巡回後の事務作業
- 12:15 昼食
- 13:00 クルーズ船取締りのための事前ミーティング
- 13:30 客船ターミナル到着後、旅客の検査
- 17:00 退庁



審理

令和3年度採用

調査部特別審理官

（第3担当）付 審理官

経歴（令和7年8月1日現在）

令和4年3月(採用) 調査部情報管理室 調査官

令和4年7月 監視部統括監視官付 監視官

令和6年7月 現職

前職について

前職はスーパーマーケット（小売）に11年程務めていました。はじめは事務職からスタートして伝票管理や従業員の勤退管理、売上金管理等を担当していました。最後の5年間程は、管理職（店長・副店長）として店舗の営業管理、衛生管理、人事管理等を行うに加え、「自分が作った売場前で、必ずお客さんの足を止める」をモットーに、日々楽しんで売場づくりに邁進していました。

税関を志望したきっかけ

転職先を探す中で「税関」を初めて知り、興味を持ちました。日本の至るところに存在する水際（国内外への出入口）で活躍されている税関職員という存在を知ったことで、強い憧れを感じましたし、前々職が警察官だったこともあり、日本の安全・安心を守る仕事にもう一度就くチャンスだと思い、選考採用に挑戦することにしました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

私は現在、主に関税法等に違反する犯則事件の調査を行っています。具体的には、不正輸出事案や社会悪物品密輸入事案等の関税法違反事件について、関係者などの実態を把握しながら証拠を収集して、事案解明に努めています。

仕事のやりがいを感じるのは、初めはほんの些細な情報で、点と点だったものが、調査を継続していく中で線でつながり、犯則事実の解明に近づいたと体感した瞬間は鳥肌が立つぐらい達成感を感じます！

また、税関の魅力は組織力とワークライフバランスの充実だと感じています。時代や環境が目まぐるしく変化する中でも、組織一丸となって変化に対応されていると感じますし、仕事と子育て、仕事と介護の両立支援等の各種休暇支援制度が充実し、業務内容にもよりますが、テレワーク環境も整っています。普段の業務においても役職関係なく職員同士がお互いの環境を理解し、チームとして業務成果をあげていこうという姿勢が構築されていると感じます。

私自身、まだまだ知識、経験共に未熟ですが、「税関」というフィールドで新たな1歩を踏み出す仲間が1人でも増えることを心から楽しみにしています！

ある1日のスケジュール

- 8:30 登庁
部門の職員間で1日の業務内容を確認
- 9:00 証拠品の精査
- 11:00 調査報告書の作成
- 12:15 昼食
- 13:30 証拠品の写真撮影
- 15:30 各種照会業務
- 17:00 退庁





旅具通関



令和7年度採用

監視部統括監視官

（旅具通関第2部門担当）付 監視官

経歴（令和8年8月1日現在）

令和8年3月(採用) 現職

前職について

議院事務局において議院警察業務に従事し、本会議等の警備、議長・副議長・外国賓客等の警護及び外国議会間交流事務を担当しておりました。

税関を志望したきっかけ

「語学」と「取締り」の両方を活かせる仕事だと感じたからです。前職でも取締りの仕事に携わっていましたが、税関では多くの外国人旅客に対して質問や検査を行うため、これまで培ってきた取締りの経験に加え、語学力も強みとして発揮できると考えました。

また、外国税関職員の方からお話を伺う機会があり、高い専門性を持ちながら、自国の国境を守るという強い使命感を持って仕事に取り組んでいる姿に大きな刺激を受け、それが税関を目指す大きな後押しとなりました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

現在は、神戸空港税関事務所で勤務し、出入国する旅客の検査を担当しています。検査台での旅具検査をはじめ、若手職員のサポート、航空機内の検査、航空会社などからの各種申請処理など、幅広い業務に携わっています。

この仕事のやりがいは、個人の強みを生かして働けることです。特に印象に残っていることは、外国人旅客に対して別室で検査を行った時のことです。緊張感のある場面でしたが、語学を活かして適切に乗り切ることができた時には、自分の強みを生かして税関の役割を果たせたと実感しました。

また、そのような場면을仲間と力を合わせて乗り越えた際には、チームの絆がより深まったと感じました。対応が終わった後、上司がごちそうしてくれたラーメンの味は、今でも忘れられない思い出です。

神戸空港税関事務所には、一人で抱え込むのではなく、困ったときには仲間同士で支え合い、チーム一丸となって仕事に取り組む温かい雰囲気があります。そのような職場だからこそ、日々やりがいを感じながら働くことができます。

ある1日のスケジュール

- 8:30 登庁
- 8:40 入国検査場準備
- 9:10 出国検査
- 9:45 入国検査前事前ミーティング
- 10:00 入国検査
- 12:15 昼食
- 13:00 入国検査
- 16:00 事務処理
- 17:00 退庁

